

# 「工科系 線形代数」訂正

(2003/12/25)

p. 21, 例題 2.2【解答】(2) 数式の 2 行目

拡大係数行列の右下の成分は  $-5$  ではなく  $-6$ 。それに伴って, 連立方程式の形に戻したときの第 3 式の右辺も  $-6$ 。

$$\begin{array}{c} \Pi(1 \leftarrow 2; -2) \\ \Pi(3 \leftarrow 1; 1) \\ \longrightarrow \end{array} \left[ \begin{array}{ccc|c} 1 & 0 & 1 & 5 \\ 0 & 1 & 1 & -1 \\ 0 & 0 & 0 & -6 \end{array} \right] \Rightarrow \begin{cases} 1 \cdot x + 0 \cdot y + 1 \cdot z = 5 \\ 0 \cdot x + 1 \cdot y + 1 \cdot z = -1 \\ 0 \cdot x + 0 \cdot y + 0 \cdot z = -6 \end{cases}$$

p. 35, ③ の  $l_{33}$  の式 (第 2 刷では修正済み)

一番右側の式に をつける。

p. 41, 2 行目 (数式の直後) (第 2 刷では修正済み)

「これらの方程式のうち, 例えば左の方程式に, (3.6) の左の式を用いると」

p. 48, [性質 2 の証明]

- 数式の第 2 行目で, 下段の  $a_{j-1}, a_{j+1}$  に  $\hat{\quad}$  (hat) がついていない。正しくは, 次の式:

$$= \begin{vmatrix} a_{11} & \cdots & a_{1,j-1} & ka'_{1j} + la''_{1j} & a_{1,j+1} & \cdots & a_{1n} \\ \hat{a}_1 & \cdots & \hat{a}_{j-1} & k\hat{a}'_j + l\hat{a}''_j & \hat{a}_{j+1} & \cdots & \hat{a}_n \end{vmatrix}$$

(第 2 刷では修正済み)

- p. 48 の一番下の行に  $(-1)^{1+j}$  がない。
- p. 49 の上から 11 行目も同様に  $(-1)^{1+j}$  がない。

p. 50, (3.18) 式のはじめ

1 行目と 2 行目をつなぐ「= (等号)」が無い。

$$= \sum_{i=1}^{j-1} (-1)^{i+1} a_{1i} \det[\dots, \hat{a}_{i-1}, \hat{a}_{i+1}, \dots, \hat{a}_{j+1}, \hat{a}_j, \dots]$$

p. 52, 公式 (3.14) の証明

- 8 行目, 10 行目, 12 行目で,  $a_{1,j}$  の余因子の  $\hat{\quad}$  (hat) はすべて  $\tilde{\quad}$  (tilde)。(太字でない  $\hat{a}$  はすべて  $\tilde{a}$  (余因子) ということ。)
- 12 行目のシグマの中身は  $(-1)^{j+1}$  ではなく  $(-1)^{n+1}$ 。
- 14 行目, 16 行目の和の範囲は  $n$  までではなく  $n-1$  まで。

p. 87, 定義 4.3 (2) (第 2 刷では修正済み)

(誤)  $V$  の任意の元  $u$  に対し, これをつけたした  $v_1, \dots, v_n, u$  は一次 独立

(正)  $V$  の任意の元  $u$  に対し, これをつけたした  $v_1, \dots, v_n, u$  は一次 従属

p. 88, 例題 4.4 の解答 (第2刷では修正済み)

解答 2 行目の「例えば」以降を以下のように訂正

例えば  $\text{II}(2 \leftarrow 1; -3), \text{I}(2; -1/5), \text{II}(1 \leftarrow 2; -2)$  とすると,

$$\left[ \begin{array}{cccc|c} 1 & 2 & 3 & 4 & 0 \\ 3 & 1 & 2 & 1 & 0 \end{array} \right] \longrightarrow \left[ \begin{array}{cccc|c} 1 & 0 & 1/5 & -2/5 & 0 \\ 0 & 1 & 7/5 & 11/5 & 0 \end{array} \right]$$

と整理できる。よって, この連立方程式の一般解は  $x = s - 2t, y = 7s + 11t, z = -5s, w = -5t$  ( $s, t$  は任意定数) という形で与えられる。これを列ベクトルの形に整理すると,

$$\begin{bmatrix} x \\ y \\ z \\ w \end{bmatrix} = s \begin{bmatrix} 1 \\ 7 \\ -5 \\ 0 \end{bmatrix} + t \begin{bmatrix} -2 \\ 11 \\ 0 \\ -5 \end{bmatrix}$$

となる。  $v_1 = \begin{bmatrix} 1 \\ 7 \\ -5 \\ 0 \end{bmatrix}, v_2 = \begin{bmatrix} -2 \\ 11 \\ 0 \\ -5 \end{bmatrix}$  とおくとき, ..... (以下は訂正なし)

p. 96, 例題 4.8 【解答】の最初の数式 (第2刷では修正済み)

(誤)  $W^\perp = \{y \in V \mid (x, a) = (x, b) = 0\}$

(正)  $y$  を  $x$  に訂正:  $W^\perp = \{x \in V \mid (x, a) = (x, b) = 0\}$

p. 98, 2 つ目の数式 (第2刷では修正済み)

(誤)  $e'_2 = v_2 - (e_1 \cdot v_2)v_1$

(正)  $v_1$  を  $e_1$  に訂正:  $e'_2 = v_2 - (e_1 \cdot v_2)e_1$

p. 100, 中ほどの数式

(誤)

$$\begin{aligned} u_1 &= b_{11}a_1 \\ u_2 &= b_{12}a_1 + b_{22}a_2 \\ u_3 &= b_{13}a_1 + b_{23}a_2 + b_{33}a_3 \\ &\dots\dots\dots \\ u_n &= b_{1n}a_1 + b_{2n}a_2 + \dots + b_{nn}a_n \end{aligned}$$

(正) 一番下の式の最後の項は,  $b_{nn}a_n$

p. 122, 例題 5.6 (答)

(誤)  $B = R(\pi/2) = \frac{1}{2} \begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 1 & 0 \end{pmatrix}$

(正)  $\frac{1}{2}$  はいらない:  $B = R(\pi/2) = \begin{pmatrix} 0 & -1 \\ 1 & 0 \end{pmatrix}$

p. 139, 一番下の数式

(誤)

$$\begin{aligned} Ap_2 &= b_{01}u_1 + b_{11}p_2 + \cdots + b_{n1} \\ Ap_3 &= b_{02}u_1 + b_{12}p_2 + \cdots + b_{n2} \\ &\dots\dots\dots \\ Ap_n &= b_{0n}u_1 + b_{1n}p_2 + \cdots + b_{nn} \end{aligned}$$

(正) 各列の最後に  $p_n$  を付け加える。

$$\begin{aligned} Ap_2 &= b_{01}u_1 + b_{11}p_2 + \cdots + b_{n1}p_n \\ Ap_3 &= b_{02}u_1 + b_{12}p_2 + \cdots + b_{n2}p_n \\ &\dots\dots\dots \\ Ap_n &= b_{0n}u_1 + b_{1n}p_2 + \cdots + b_{nn}p_n \end{aligned}$$

p. 139, 一番下の行

(誤) 「これを用いて」

(正) 「これらの数式は」に訂正

p. 143, 脚注 (第 2 刷では修正済み)

$v_1$  の式で,  $t$  がかかっているベクトルは  $\begin{bmatrix} 1 \\ -1 \end{bmatrix}$  ではなく  $\begin{bmatrix} 1 \\ 1 \end{bmatrix}$

(上記以外にお気づきの点がありましたら, 算までご連絡いただければ幸いです。)